

Press Release

## 資生堂、アクセンチュアと合併会社 「資生堂インタラクティブビューティー株式会社」を7月に設立 ～変化するお客さまと市場環境に迅速に対応～



株式会社資生堂(本社:東京都中央区、代表取締役 社長 兼 CEO 魚谷雅彦、以下資生堂)は、アクセンチュア株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 江川昌史、以下アクセンチュア社)と、資生堂およびそのグループ会社に、デジタルマーケティング業務とデジタル・IT 関連業務を提供する合併会社「資生堂インタラクティブビューティー株式会社(以下資生堂インタラクティブビューティー)」を、本年7月に設立することに合意しました。

資生堂は、中長期経営戦略「WIN 2023 and Beyond」においてスキンケア領域をコア事業とする抜本的な経営改革を実行しています。その一環として、「デジタルを活用した事業モデルへの転換・組織構築」を掲げており、2021年2月にグローバルでのデジタル領域で多くの支援実績を持つアクセンチュア社と戦略的パートナーシップ締結を合意しました。今回の新会社は、変化するお客さまと市場環境に迅速に対応し、デジタルトランスフォーメーション(DX)を加速させ、日本の事業モデルを革新していくことを目的としています。

新会社では、デジタルを中心とした事業モデル改革、グローバル標準のITインフラとオペレーションの構築、さらにデジタル・IT 領域での人材の強化に取り組みます。アクセンチュア社からの人材、知見を取り入れ、ビューティー領域に特化したデジタル・IT の戦略機能会社ならではのスピードとイノベーションにより、資生堂のIT機能の拡充だけでなく、さらなるDXの加速によって、新しいデジタルマーケティング戦略を強化していきます。

例えば、資生堂だけでは成し得なかった新しいビューティー体験を実現します。お客さまがオンラインや店頭で行った肌診断やバーチャルメイクアップ履歴をデータベースに蓄積し、その履歴データを購買データや研究開発のデータ等と合わせて分析することで、時間や場所を自由に選択できる、そのお客さまに最適なカウンセリングや商品、レッスンのメニューの提案を可能とします。そのほかにも、美容に関する最新のテクノロジーを活用し、お客さま一人ひとりに合わせてパーソナライズされたサービスを、生涯にわたりデジタル、リアル問わずシームレスに、かつ様々なコンタクトポイントで提供します。

また、既存システムのクラウド移行を始めとする「クラウドファースト」の施策を実施します。IT機能の拡充と柔軟なシステム基盤を構築し、資生堂のIT投資およびメンテナンスコストの効率を高めるとともに、事業スピードの向上と、データによる迅速なビジネス判断を実現します。

さらに、アクセンチュア社の人材育成ノウハウを活用し、資生堂が強化したいデジタル・IT人材像のための専用プログラムを共同で開発・提供することで、デジタル・IT専門分野での高度なスキルを持つ社員を育成します。外部からの人材獲得も積極的に行い、資生堂全体のデジタル・IT能力の向上に貢献します。

<資生堂インタラクティブビューティーの概要>

- ・社名: 資生堂インタラクティブビューティー株式会社
- ・代表者: 高野 篤典
- ・主な業務: 資生堂およびそのグループ会社にデジタルマーケティング業務、およびデジタル・IT 関連業務を提供
- ・所在地: 東京都中央区銀座 7 丁目 5-5
- ・資本金: 1 億円
- ・出資の状況: 資生堂が過半を出資
- ・社員数: 約 250 名
- ・会社設立時期: 2021 年 7 月(予定)

[資生堂インタラクティブビューティー株式会社 HP](#)

以上